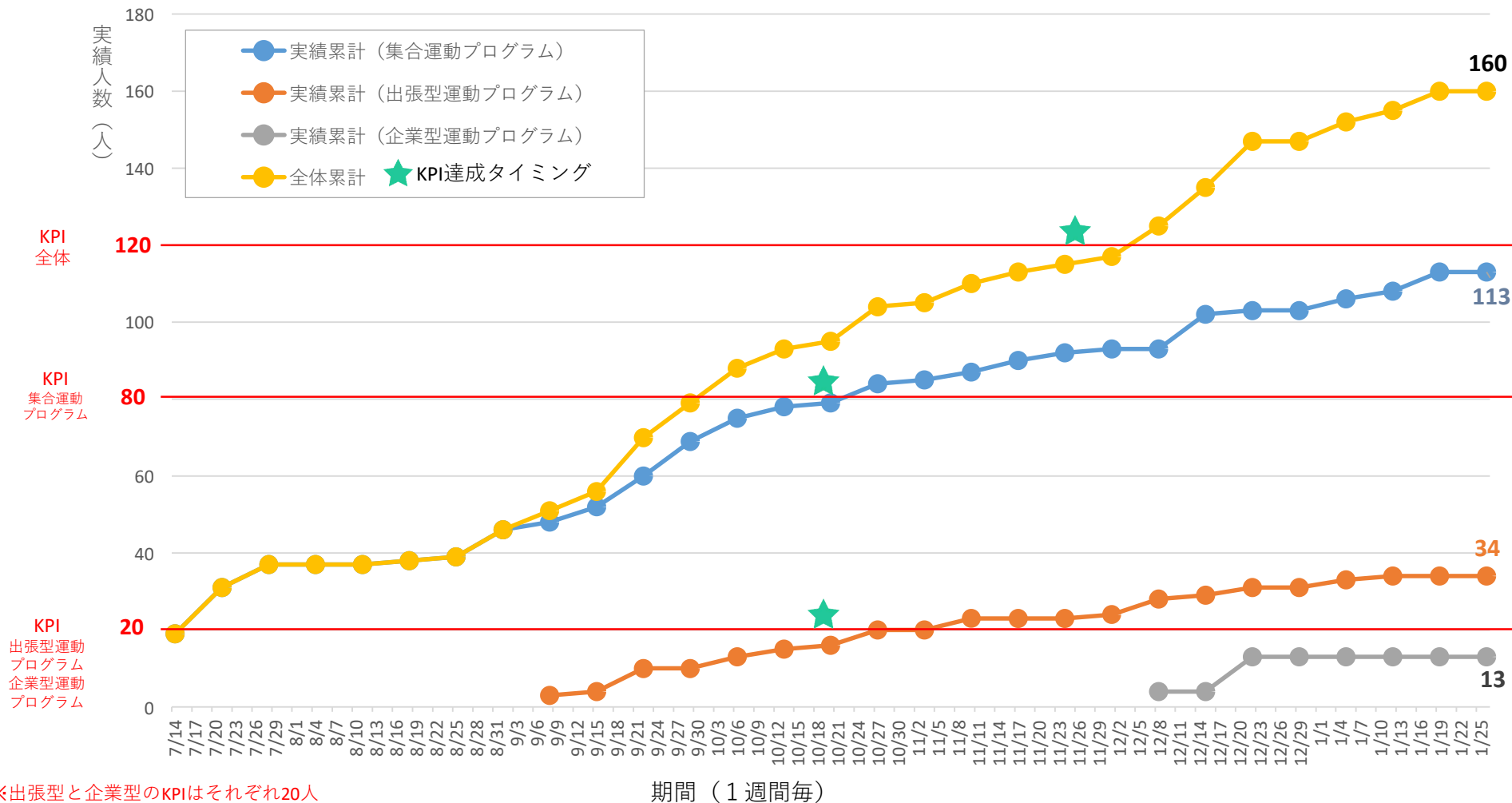


運動プログラム実績数推移 (グラフ)



H A L 集合運動プログラム 効果測定

2026/1/31時点

2ステップテスト（ロコモ度）※

※歩幅を調べ、下肢の筋力・バランス能力・柔軟性などを含めた歩行能力を総合的に評価

- ロコモ度 1** 移動機能の低下が始まっている状態
- ロコモ度 2** 移動機能の低下が進行している状態

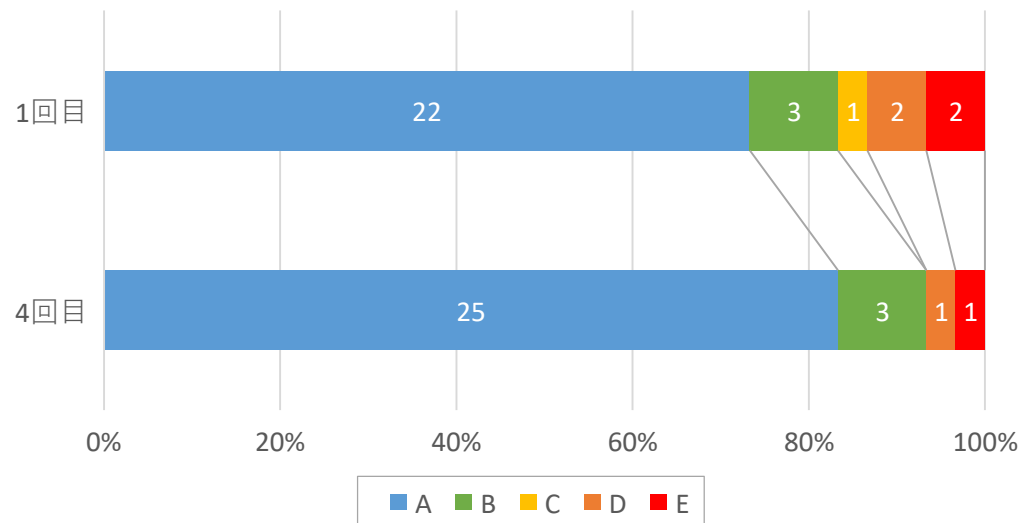
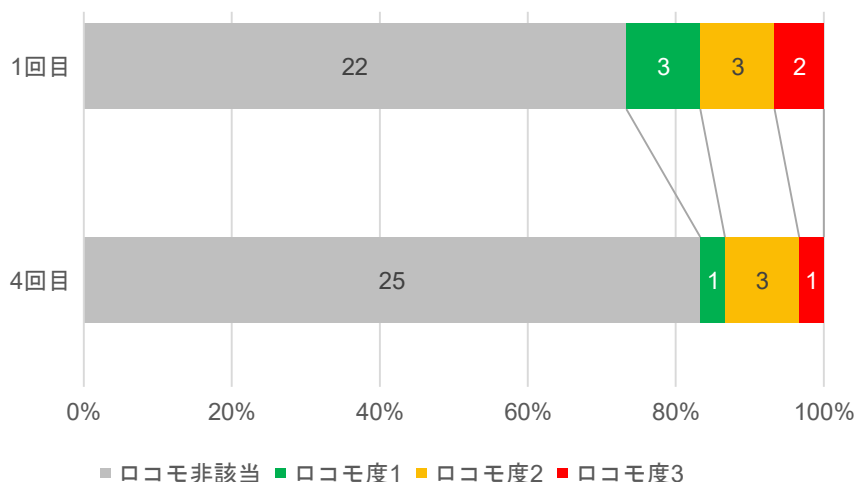
- ロコモ度 3** 移動機能が低下し、社会参加に支障をきたしている状態

総合判定

左記の2ステップテストの他、5回立ち座り、TUG（起立、歩行、着座の測定）の計3種のテストを総合判定を行った。

5回立ち座り		TUG		2ステップ		3つの合計点	総合判定
条件	点数	条件	点数	条件	点数		
12秒未満	0	11秒未満	0	$1.3 \leq x$	0	0	A
12秒以上	3	11秒以上	2	$1.1 \leq x < 1.3$	2	1-5	B
17秒以上	6	12秒以上	4	$0.9 \leq x < 1.1$	4	6-10	C
-	-	13.5秒以上	6	$x < 0.9$	6	11-15	D
						16-18	E

4回参加者 (n=30)



運動プログラム参加者に対し、運動プログラム1回目、4回目に行なった効果測定結果を比較すると、全てのテスト項目において運動機能の改善が認められ、短期間でも効果があることが確認できた。

一方、5回目以降運動プログラムを継続した参加者の中には運動機能の改善が認められなくなる参加者もいたが、有意な根拠は確認できなかった。

パワーアシストスーツを活用した健康増進実証事業（HAL） 令和7年度（交付金最終年度）での終了について

1 事業概要

市内在住の高齢者などに装着型サイボーグHALを活用した運動プログラムを提供することで身体機能の改善や生活意欲の向上を図ることを目的に、令和4年度から4年間取り組んできた。

4年間の総事業費は国の新しい地方経済生活環境創生交付金を活用し約95,000千円である。

2 HAL運動プログラム参加者数実績

令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
102人	114人	160人	376人

※運動プログラムの実施は令和5年度からの3年間

- ・運動プログラム参加者の8割程度に身体機能の改善がみられる。
- ・運動プログラム参加者の9割弱が来年度以降の継続参加を希望している。

パワーアシストスーツを活用した健康増進実証事業（HAL） 令和7年度（交付金最終年度）での終了について

3 課題

- ・ HALのレンタル費用が年間約700千円/台と高額であり、今年度同様6台で運用、運動プログラム運営を委託して事業を継続すると想定すると、年間10,000千円程度の事業費が必要である。
- ・ 運動プログラム参加者の継続参加希望は多いものの、有料化した場合に支払可能な参加料（運動プログラム4回セット）を尋ねたところ、いずれの参加者も「2,000円未満」という回答であった。
- ・ 参加料で事業費の採算を取るには、運動プログラムに年間5,000人の参加が必要である。

4 方向性

- ・ HAL運動プログラム自体の満足度は高く、身体機能の改善効果も認められるものの、国の交付金が財源でなくなる来年度以降、参加費を財源として事業を運営していくことは非常に困難な状況であるため、令和7年度を以て事業終了した。